

とっとり交通リノベーション
～実現！鳥取版 MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)～

1. 事業実施団体

鳥取バスフェスタ実行委員会（鳥取市）

新しい公共交通のあり方を市民とともに考え、路線バスをはじめとする公共交通の有効活用と利用促進を図ることを目的に設立された団体である。

2. 県の協働担当課

輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局交通政策課

乗合バス、鉄道、タクシーの運行を確保し、維持するための対策など、交通政策に係る様々な施策を行っている部署

3. 課題及び目的

自家用車の普及・少子高齢化の進展に伴い、県内では従来から公共交通機関の利用が減少し、事業継続が厳しい状況にある。

そこで、公共交通を積極的に利用したくなる魅力的な乗車動機を作ることとし、路線バスと沿線の店舗が連携し、デジタルネットワークを活用して、バス利用者に特典や新たなサービスを提供することを目的とした。

4. 課題解決の手法

(1) 「鳥取おいしい MaaS アプリ」の作成・販売・広報 PR

公共交通と店舗等をセットにしてスマートフォンで使用する「デジタルチケットアプリ RYDEPASS」を活用して、①路線バスの乗り放題チケット、②県東部地区の飲食店の特典クーポンがセットになったサブスクリプションチケットを作成・販売、広報し、公共交通の利用を呼び掛ける。

(2) アナログ版おいしい「バスグルメマップ」作成配布

ラーメンやカレー、公共交通と相性のよい飲食が伴う焼き肉店の情報を掲載した紙媒体のマップを作成し、配布する。

(3) 「鳥取おいしい MaaS」アプリを使ったツアー企画

「鳥取おいしい MaaS」チケットのモデル的な使い方を広報・PR するために、店舗を巡るイベントツアーを実施する。ツアーはバスレンジャー「ノルデーV（ファイブ）」が案内役を務める。

(4) 「鳥取おいしい MaaS」協議会の結成

マップ参画飲食店で協議会を組成し、協議会員には「鳥取県 MaaS エコシステム形成コンソーシアム (ToMEC)」の会員となってもらい、MaaS に関する情報共有を行うことで、さらなるサービス開発につなげる。

(5) バスクイズ選手権

バス路線を覚えてもらい、路線バスを身近な“自分ごと”としてとらえてもらうために、鳥取県東部地区のバス路線や路線バスに関する知識を問うクイズ選手権「いなバス王」（仮）を実施する。

5. 主な役割分担

【事業実施団体】

- ・交通事業者と連携する事業者への提案と交渉
- ・バス事業者への協力要請
- ・デジタルチケット、マップ作製配布、モニターツアーの実施
- ・「鳥取県 MaaS 研究会」で取り組んでいる事業の情報提供
- ・クイズ選手権の問題考案

【行政】

- ・全国の MaaS の導入事例やその運営についての最新、有効情報の収集
- ・「県内公共交通機関の課題」のとりまとめと情報提供
- ・デジタルチケット、マップ作成配布
- ・クイズ選手権の運営



6. 取組と成果

(1) 「鳥取おいしい MaaS アプリ」の作成・販売・広報 PR

「デジタルチケットアプリ RYDEPASS」を活用して以下のサービスを提供した。

- ◇土日2日間乗り放題チケット（参画飲食店の特典クーポン付）：1, 200円（税込）
 - ◇チケット販売期間：令和4年7月30日（土）～令和5年2月26日（日）
 - ◇チケット売上数：35枚（売上金：42,000円）
 - ◇「鳥取おいしい MaaS」ラーメン編：29店舗参画
 - ◇「鳥取おいしい MaaS」カレー、焼肉編：27店舗参画
- 以下の方法により広報 PR を行った。
- ◇リーフレット（B4カラー版）：新聞折込等により延べ47,300部を配布
 - ◇情報誌への掲載：情報誌「つばさ」で「鳥取おいしい MaaS アプリ」を紹介

(2) アナログ版おいしい「バスグルメマップ」作成配布

バスグルメマップ「麺財布」（ラーメン）／「華麗なる焼肉三昧」（カレー、焼肉）を各3,000部作成し配布した。

- ◇配布先：鳥取バスターミナル、参画店舗、県東部関連機関、とっとり交通フェスタ会場

(3) 「鳥取おいしい MaaS」アプリを使ったツアー企画

「デジタルチケットアプリ RYDEPASS」を活用して店舗や沿線観光地を巡るイベントツアーを2回実施した。ツアーのルートは「鳥取おいしい MaaS ラーメン編」の参画店舗と沿線観光地を組み合わせた内容を交通政策課が立案し、観光地滞在をしながらラーメンやサイドメニュー楽しむことができる「観光ツアー」に仕立てた。

◎第1回（参加者：7名）

- ・実施日程：令和4年8月21日（日）11:00～18:00
- ・ルート：鳥取駅BT—岩美町役場前—ラーメン日の出丸・道の駅「きなんせ岩美」—鳥取砂丘砂の美術館—ラーメン吉岡家—鳥取駅BT

◎第2回（参加者：11名）

- ・実施日程：令和4年10月15日（土）11:00～19:00
- ・ルート：鳥取駅BT—智頭駅前—とっとり処・タルマーリー道の駅かわはら—吉成鶏白湯 鶏神—鳥取駅BT

(4) 「鳥取おいしい MaaS」協議会の結成

令和4年度に鳥取県が発足した「鳥取県 MaaS エコシステム形成コンソーシアム (ToMEC)」に、本事業の「鳥取おいしい MaaS マップ」の参画店舗に会員となってもらうための準備を行った。

●参加者：県交通政策課、鳥取バスフェスタ実行委員会、鳥取市交通政策課
<協議会準備のための協議>

- ◎第1回 日時：令和4年9月7日（水）16:00 会場：鳥取市役所
- ◎第2回 日時：令和4年12月23日（金）15:00 会場：鳥取県庁

(5) バスクイズ選手権

バス路線を覚えてもらい、身近な”自分ごと”“としてとらえてもらうために、鳥取県東部地区のバス路線や路線バスに関する知識を問うクイズ選手権「とっとりバスクイズ選手権」を実施した。

- ◇開催日程：令和5年2月26日（日） ◇開催会場：鳥取市民交流センター「多目的室1」
- ◇参加人数：41名 ◇参加費無料
- ◇募集告知

- ・バスレンジャー「ノルデーV」フェイスブック、・交通トリピーSNS
- ・告知リーフレット作成折込（B4判カラー2万5000部 折込日：令和5年2月4日（土））

上記の取組を通して、実施事業で目指していた「鳥取おいしい MaaS」の根幹である飲食店とバス利用を結びつけるスマホアプリサービスとツール「バスラーメンマップ29店舗」「バスカレー焼肉マップ27店舗」の発行は、公民連携だからこそできる公共交通の利用促進への新しいアプローチを誕生させることができた。

本事業で鳥取県内初となるバスクイズ選手権の開催、「おいしい MaaS」の積極的な PR により新聞記事や記事のネット配信により、これまで公共交通を利用したことがない人々、また次世代の利用者となる若者層（10代～20代）にも「公共交通を自分ごとにする」ことが確実に進んだ。

7. 事業終了後の状況

- ・参画店舗やジャンルを増やす仕掛けとして、「鳥取市ノルデ運動との連携」をはかりさらにお得なチケットの企画販売を行っている。
- ・参画店舗も35店舗に増加し、エリアも若桜から八頭、鹿野まで拡大している。また、食事に加え、カフェはスイーツなどのジャンルも増やし、利用が進むよう取り組んでいる。